

緑の相談所だより



四葉の クローバー？

一見クローバーのようですが、この植物は水田などの湿地に生えるシダ植物のデンジソウです。皆さんは、ご覧になられたことはありますか。かつては兵庫県の各地で見られたそうですが、今では兵庫県の絶滅危惧種のAランクに登録され、環境省のレッドリストでも絶滅の危険が増大している種(絶滅危惧Ⅱ類UV)とされています。

昨年、このデンジソウが尼崎市内で見つかりました。当園では兵庫県立人と自然の博物館、尼崎市環境創造課と連携し種の保護活動を開始しました。

市内の高校生もデンジソウを育てています



市内で見つかったデンジソウは、兵庫県立人と自然の博物館の鈴木先生の指導のもと、一部を採取し当園で栽培管理しています。同じように保全活動に参加されているのが、兵庫県立尼崎北高等学校の環境部の皆さんです。普段の部活では化学の実験や、生物の生態調査などをされています。顧問の笹木先生は「学校の近くで絶滅危惧種が見つかり、生物多様性を身近に学ぶ機会を得ました。全校生徒にデンジソウとはどんな植物か伝えていきたい。」とおっしゃられていました。

尼崎市都市緑化植物園で見られる絶滅危惧種

野生で絶滅が危惧されている国内外の植物を73種管理しています。園内で皆様にご覧いただいているヒトツバタゴやヒメバラモミ、サンショウバラなども環境省のレッドリストに入っている植物です。公園や園芸植物で見かける植物も、自生では絶滅の危機にあるものが多くあります。実はイチヨウもそのひとつなんです。

当園が開園当時から多くコレクションしているサボテン類は、自生地での個体数が減少しています。国際自然保護連盟の研究によると世界のサボテン1480種のうち、31%が絶滅の危機にあるとされています。農地や宅地の開発、乱獲などが主な理由といわれています。



ヒトツバタゴ
(モクセイ科)
絶滅危惧Ⅱ類(VU)
別名なんじゃもんじゃ



ヒメバラモミ
(マツ科)
絶滅危惧Ⅱ類(VU)
自生地では樹高が45mに



サンショウバラ
(バラ科)
絶滅危惧Ⅱ類(VU)
葉がサンショウに似ている



**ユーベルマニア
ペクチニフェラ**
(サボテン科)
絶滅危惧Ⅰ類(EN)
稜上にトゲが並んで
馬のたて髪に見える

「種の保存法」に基づく規制

| | |
|---|--|
| <p>「種の保存法」に基づき国内希少野生動物植物種は、捕獲・採取・損傷などが原因として禁止されています。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow; font-weight: bold;">捕獲・採取・損傷</p> | <p>譲渡し等(あげる、売る、貸す、もらう、借りる等)や譲渡し等を目的とした広告・陳列も原因として禁止されます。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow; font-weight: bold;">譲渡しや譲渡しを目的とした 広告・陳列</p> |
|---|--|

罰則

| | |
|--|--|
| <p>捕獲・採取や譲渡し等の規制に違反した場合…</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow; font-weight: bold;">個人の場合 5年以下の懲役または 500万円以下の罰金</p> | <p style="text-align: center; background-color: yellow; font-weight: bold;">法人の場合 1億円以下の罰金</p> |
|--|--|

環境省は国内に生息・育成する絶滅のおそれのある野生生物のうち、人為的な影響により減少が見られる種等を「国内希少野生動物植物種及び緊急指定種」とし、2018年2月15日までに260種(そのうち78種が植物)を指定し、それらの動植物の捕獲や採取を原則として禁止しています。

一部の心ない人たちのために野生のランなどが減少しています。一度絶滅したものは、二度と元に戻すことはできません。自生地で見つけた珍しい植物に出会っても、その感動だけを持ち帰りましょう。



尼崎市内で見つかった 絶滅危惧植物デンジソウ

兵庫県立人と自然の博物館

自然再生研究部 研究員 鈴木 武

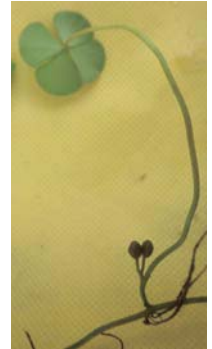


(写真1)

デンジソウ（写真1）は、見かけは四葉のクローバーそっくりですが、胞子で増えるシダ植物です。四葉を「田」の字に見立てて、「田字草」となりました（中国語でも同じ名称です）。

水田や川の脇などに生育しますが、除草剤などの影響か、ほとんど姿を見かけなくなりました。北海道から九州まで分布しますが、記録のあるすべての都道府県で絶滅危惧種に指定されています。兵庫県でも最も絶滅の危機に瀕しているAランクに位置づけられています。兵庫県内では赤穂市などの揖保川水系、丹波市から加古川市などの加古川水系、淡路島など10地点に記録がありますが、現存するのは数地点ほどです。

実は、2018年10月に尼崎市内にも生育していることがわかりました。現在、兵庫県レッドリスト（植物）の改定作業をしているのですが、兵庫県植物誌研究会の小林会長が会員に情報提供を呼びかけたところ、尼崎市南塚口町の住宅地の水路にデンジソウが生えているとの連絡がありました。近縁種のナンゴクデンジソウが園芸店などで販売されており、逸出の可能性もあるので、すぐに現地確認したところ、葉柄のやや上の位置に、小豆くらい大きさの胞子嚢果（ほうしのうか：胞子のはいった袋）があり、デンジソウであることがわかりました（写真2）。



(写真2)

そのときにであった地元の方の話ですと、周辺は昭和40年代には水田だらけだったこと、デンジソウの生えていた水路は水田の排水用水路だったとのこと。デンジソウの胞子嚢果は土の中で休眠しており、数十年以上経ってから発芽することもあります。また伊丹市昆陽池周辺では今でもデンジソウが生育しており、武庫川水系には広くデンジソウが分布していた可能性が高いことから、この尼崎市のデンジソウは休眠していた胞子から発生した自生のもつと判断しています。

2018年11月時点ではデンジソウは水路に沿って10m以上の幅で広がっており、1000枚以上の葉がありました。地元の方の話では、水路自体は尼崎市役所が管理していて、時々除草しているとのことでした。デンジソウは細い地下茎が広がっているので、全部を除去できるものではありませんし、背の高い草を刈ってもらう方が日当たりがよくなり、成長もよくなると考えています。しかしながら、除草剤をまかれるとさすがに厳しいので、尼崎市環境創造課に絶滅危惧植物のデンジソウが尼崎市内に生育しているという連絡を入れました。すると水路を管轄する河港課にすぐに確認を取っていただき、12月に除草の予定であることがわかりました。

12月の除草の際に私もかけて、関係者と打合せをしました。水路の雑草は10年以上前から手で除去しており、これからも同じように続けるとのこと。デンジソウにとってはむしろ好ましい状況と思われます。尼崎市全域で水路の廃止も含めての検討を始めているが、絶滅危惧植物が生育していることは市役所内で情報共有して注意するということですので、当面は現地集団は生き残ると判断しています。

そうは言っても何が起きるかわかりませんので、絶滅危惧植物では、植物園などで栽培しておくという域外保全という手法が取られます。デンジソウの栽培は何度かしたことがありますが、比較的容易です。尼崎緑化公園協会の判断で、尼崎市都市緑化植物園などで栽培いただけることとなったので、尼崎市のデンジソウに関しては当面は安心してよさそうです。

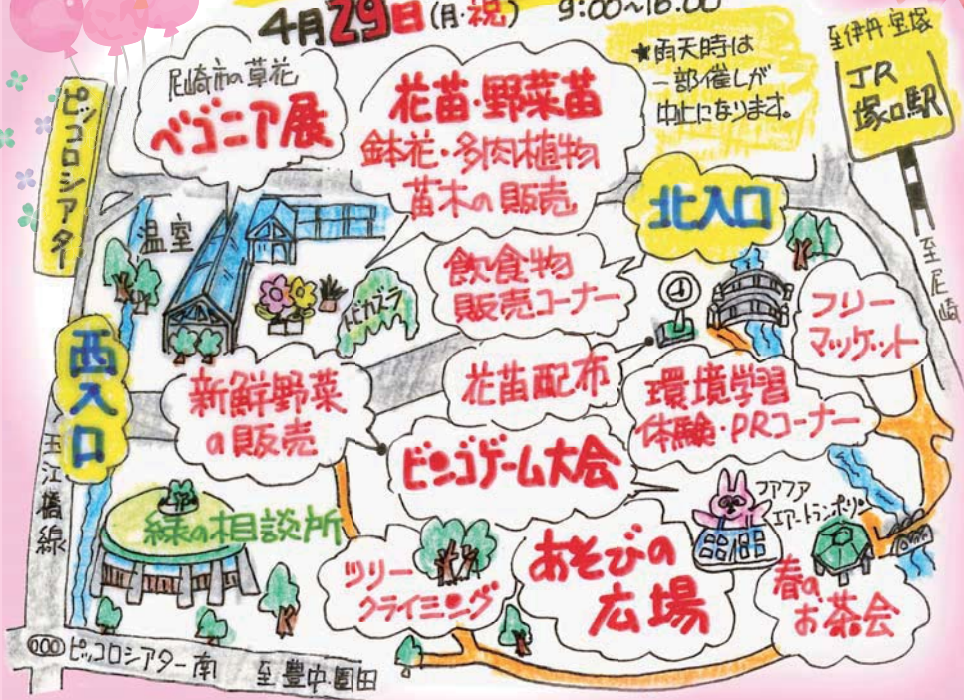
尼崎市は自然の緑が少ないので、希少な植物は生えていないだろうと思いつき、油断していました。植物の分布情報が少ない場所がどうも調べている人がいないということもあるようです。今回のデンジソウも市民の発見がなければ認識されませんでした。地道に調べることの重要性を感じました。

2019 春の花と緑のフェスティバル

4月29日(月・祝) 9:00~16:00

★雨天時は一部催しが中止になります。

至伊丹宝塚
JR 塚の駅



中央公園ほか

昨年も多くの方に「花のまち あまがさきチューリップ運動」にご賛同いただきありがとうございました。市内全域に植えられたチューリップの数は12万4千球になりました。また、東日本大震災被災地応援プログラムで尼崎市が支援を続けている宮城県気仙沼市でも1万球が開花の予定です。

チューリップ祭り 4/5(金)~4/7(日) 《中央公園》

インスタ映えチューリップスポット
全国ふるさと観光物産展
4/7(日)成良中学校による演奏会



尼崎 チューリップ百景



- ・中央公園(阪神尼崎駅北) ……21,000球
- ・尼崎市都市緑化植物園 ……3,000球
- ・アルカイック広場 ……1,600球
- ・JR尼崎駅北緑道 ……10,000球
- ・西武庫公園 ……2,000球
- ・阪急武庫之荘駅北広場 ……1,600球
- ・阪急武庫之荘駅南広場 ……1,200球
- ・元浜緑地 ……1,000球

中央公園チューリップ花壇の開放 4/1(月)~4/21(日)





第66回 さつき展 5月18日(土)～5月26日(日) 9:00～18:00 (最終日は15:00まで)

本年も阪神尼崎駅前の中央公園にて会員一同が丹精込めて育成された臈月盆栽と色あでやかな花を咲かせたサツキを展示致します。今春オープン予定の尼崎城も寺町も近くにあり、各所を観光しながら是非、お立ち寄りください。
(尼崎臈月協会)



森のマルシェ

3月16日(土)～17日(日)

10:00～15:00(荒天中止)

キッチンカーフェスティバル、
雑貨などの販売、乗馬体験、各ステージなど

※入場無料 一部ブース有料



※写真はイメージです

尼崎の森中央緑地 ロハスピクニック

produced by ロハスフェスタ

5月11日(土)～12日(日)

10:00～16:00 ※雨天決行(荒天中止)

手作り雑貨やワークショップ、フード・スイーツの販売など

※入場無料 ブース有料

【お問い合わせ】

尼崎の森中央緑地パークセンター

住所/尼崎市扇町3-4 TEL/06-6412-1900

開館時間/9:00～17:00 休館日/年末年始(12/29～1/3)

※各種詳細は決定次第、webサイト

「尼崎21世紀の森ウェブマガジン」<http://ama21mag.jp>にて

森づくり定例活動 (9:45～12:00)

3月3日(日)、15日(金)

4月7日(日)、19日(金)

5月5日(日)、17日(金)

森の手入れなど(無料、申込不要)

あまがさき森っこ活動日(10:00～11:30)

3月24日(日) 森に木を植えよう(◎3/10まで)

4月28日(日) 春の森の探検隊!(◎4/14まで)

5月26日(日) 草もちを作ろう!(有料◎5/12まで)

森の子育て広場

3月23日(土)10:00～11:45

柴刈り・薪割り体験・たき火で焼いて
食べようなど。(無料◎3/9まで)

※対象3歳以上の未就学児(保護者同伴)

茅葺民家見学会

3月24日(日)14:00～16:00

施設内見学・利活用説明など(無料・申込不要)

花と緑の伝言板

「賛助会員」募集のお知らせ

・年会費 3,000円/1口(1年更新)

・特典 鉢花等をプレゼント

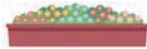
「緑の相談所だより」(季刊発行)

花の種子、球根類や資材の斡旋

皆さまからいただいた会費により、駅前のプラ
ンターに花を植えたり、ボランティアを育成したり
と有効に活用させて頂いております。

【お問い合わせ先】

協会事務所 TEL.06-6494-9046



「花いっぱい」の会」会員募集中!

・年会費 1,000円/1人(1年更新)

※3人以上のグループでお申し込み下さい。

自宅付近での花づくり活
動を中心に、講習会や講演
会、季節の花を観賞する施
設見学会等、身近に花と緑
いっぱいの環境づくりを
目指しています。



【お問い合わせ先】

上坂部西公園 TEL.06-6426-4022

2019年 ガーデニングコンテストについて

例年3月に募集を開始しておりましたフラワーガーデニングコンテストは、
春から秋にかけての期間で、写真で応募いただく方式に変更いたします。

応募方法の詳細については4月以降に市ホームページに掲載する情報でご確認ください。

3月



2日(土)「菊作り」13:30～15:30

菊培養土、肥料準備と作り方
講師：兵庫県菊花連合会
会長 保田三千男

展示会 3日(日)～13日(水)
「役立つ多肉植物
～有用植物としての魅力～」
場所：緑の相談所

★10日(日) 10:00～12:00
「もっと多肉植物が好きになる！
多肉のお話と展示ガイド」

講師：協会職員 田上義信
定員：20名 費用：無料 ㊞申込

10日(日)「皐月盆栽」13:30～15:30

植え替え
講師：尼崎皐月協会 会員

16日(土)「小品盆栽」13:30～15:30

雑木盆栽の植え替え他
講師：尼崎小品盆栽山草会 会員

展示会 17日(日)～24日(日)
「2018あまがさき
フラワーガーデニングコンテスト
入賞花壇写真展」

場所：緑の相談所

17日(日)「室内で楽しむ
～森林性サボテンの寄せ植え～」
13:30～15:30



講師：園芸研究家 能勢健吉 氏
定員：15名 費用：1,500円 ㊞申込

23日(土)「植物園ガイド」11:00～11:40

講師：尼崎市都市緑化植物園
グリーンヘルパー

展示会 30日(土)～31日(日)
「春の椿展」
出展：コーベ・カメラリア・ソサエティ
場所：緑の相談所

4月



6日(土)「菊作り」13:30～15:30

培養土作り、品種選定他
講師：兵庫県菊花連合会
会長 保田三千男

13日(土)「洋ラン」13:30～15:30
～シンビジウム～

講師：尼崎洋ラン会 川原大助
定員：15名 費用：1,000円 ㊞申込

14日(日)「皐月盆栽」13:30～15:30

消毒、その他
講師：尼崎皐月協会 会員

20日(土)「小品盆栽」13:30～15:30

雑木・松柏の植え替え
講師：尼崎小品盆栽山草会 会員

21日(日)「洋ラン」13:30～15:30
～コショウラン～

講師：尼崎洋ラン会 川原大助
定員：10名 費用：1,200円 ㊞申込

展示会 22日(月)～5月6日(月)
「ベゴニア展」

場所：温室

『ガーデニング体験講座』 in 中央公園

5月10日(金)10:00～12:00

講師：協会職員 宮内和之
定員：20名 費用：無料 ㊞申込



5月



11日(土)「洋ラン」10:00～12:00
～カトレア～

講師:尼崎洋ラン会 川原大助
定員:15名 費用:1,200円 ㊟申込

11日(土)「菊作り」13:30～15:30

大菊鉢上げと施肥ほか
講師:兵庫県菊花連合会
会長 保田三千男

12日(日)「皐月盆栽」13:30～15:30

施肥、開花前の管理
講師:尼崎皐月協会 会員

展示会 17日(金)～19日(日)
「みどりとやきもの展」

出展:久友会陶芸部

17日(金)「ガーデニング体験講座」
10:00～12:00

講師:協会職員 田上義信
定員:20名 費用:無料 ㊟申込

18日(土)「小品盆栽」13:30～15:30

雑木盆栽の植え替え、
暖地性盆栽の植え替え
講師:尼崎小品盆栽山草会 会員

19日(日)「洋ラン」13:30～15:30
～デンドロビウム～

講師:尼崎洋ラン会 川原大助
定員:15名 費用:1,000円 ㊟申込

25日(土)「植物園ガイド」11:00～14:40

講師:尼崎市都市緑化植物園
グリーンヘルパー

25日(土)「初心者のための盆栽教室」
13:30～15:30

講師:筒井敏勝 氏
定員:15名 費用:1,500円 ㊟申込



ローブ



染料



お酒

役立つ多肉植物展
～有用植物としての魅力～
3月10日(日)～13日(水)



もっと多肉植物が好きになる!
多肉のお話と展示ガイド
3月10日(日)10:00～12:00

多肉植物の育て方、
色々な使われ方などの
お話しと展示ガイド!!

緑の相談所

5/25
(土)

10:00～11:30

尼崎市菊花協会による

菊苗の販売会

緑の相談所前で大菊、ドーム菊、盆栽菊などの苗を販売します。菊作りにご興味のある方は、是非お越しください。1本200円、6本セット(組み合わせ自由)1,000円を予定。11:30からお買い上げの菊の育て方がわかる無料講習会もあります!

お申し込み
お問い合わせ

尼崎市都市緑化植物園
(上坂部西公園)

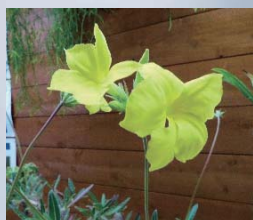
TEL 06-6426-4022

お待ちしております!

温室図鑑

File No.13

塊根植物 パキポディウム



Pachypodium

キョウチクトウ科

なんて可愛い形なんだろう！
と思うのは私だけでしょうか。
先日、ホームセンターで珍しく
パキポディウムの小株が売ら
れていました。パキポディウム
は茎を肉厚にして貯水機能をも
つ多肉植物で、このような茎
や根を肥大させた植物は総称し
て「塊根植物：コーデックス
プラント」と呼ばれています。
この仲間は生育が遅いものが
多く、大株になるには時間がか
かり大変高価ですが人気の種
類です。その名の通りPachys
(太い)とpodius(足)からなり、
茎の下部が肥大することに
因みます。南アフリカや、アン
ゴラ、マダガスカルなどに約20
種が分布します。花は黄色が多
くよく目立ち、当園温室では5
種類のパキポディウムが3月か
ら6月にかけて順に開花し、ご
覧いただけます。(田上義信)

見頃予報

3月



サンシュユ

4月



キリ

5月



ウツギ

尼崎市都市緑化植物園(上坂部西公園)緑の相談所

〒661-0011 尼崎市東塚口町2-2-1 TEL 06-6426-4022(FAX同じ)



- [開園時間] 4月～9月:6:00～21:00
10月～3月:6:00～18:00
- [温室] 10:00～16:00(火曜日、水曜日、年末年始は休館)
- [緑の相談所] 9:00～17:00(年末年始は休館)
- [アクセス] JR塚口駅 西南へ徒歩5分
阪急塚口駅 東南へ徒歩15分
阪神バス、阪急バスともに
「ピッコロシアター」下車東南へ1分



[緑の相談] 10:00～12:00、13:00～16:00(年末年始は休み)
園芸相談専用ダイヤル TEL:06-6426-7500

植物に関するご質問は、緑の相談コーナーへお越しいただくか、
お電話でも対応しています。

ホームページにアクセスできます→

